

地域の「環境」「活力」「安全・安心」を支える 道路整備が必要です。



ラグビーワールドカップ2019日本大会
開催都市に決定



写真提供：トヨタ自動車

ものづくり中核都市
(燃料電池車ミライの製造ライン)



豊田スタジアムと豊田大橋



平成27年8月

豊田市幹線道路整備促進協議会

当市のある西三河地方は、ものづくり産業の中心として日本の経済発展を支えてきた地域であり、今後もその責務を果たしてゆくべき地域です。一方、当市の道路ネットワークは未だ十分に整備された状況に無く、加えて、近い将来、南海トラフ地震等の大規模地震の発生が確実と言われる地域です。

当市は、2019年ラグビーワールドカップ日本大会の開催都市であり、開催に向けた取組を推進するとともに、これを契機とした地域交流・地域活性化、都市の国際化に向けた取組を推進しています。

このような中、道路は、災害時における避難路・物資等の輸送路であると同時に、環境にやさしく活力ある都市として持続的な発展を実現する重要な社会基盤です。

今後も地方が真に必要なとする道路整備を着実に推進し、道路ネットワークの構築を図ることこそが、国土強靱化、防災・減災、老朽化対策等、安全・安心な暮らしの確保、経済に好循環をもたらすストック効果の最大化による国際競争力の強化、地方創生、日本経済の活力・成長となるものと考えます。

このような状況を踏まえ、下記の事項について特段の配慮をよろしくお願いいたします。

- 1 道路整備に対する地方の切実なニーズを十分に踏まえ、地方が真に必要なとする国道、県道、市道のいずれもが着実に整備されるよう、平成28年度に必要な予算の確保、並びに必要な予算を安定的・持続的に確保すること
- 2 災害に強い、安全・安心な暮らしの確保、産業・経済活動を支え、経済に好循環をもたらすストック効果を重視した道路整備を計画的かつ着実に推進すること
- 3 ラグビーワールドカップ2019開催に向け、安全で円滑な輸送、来訪を可能とするためにも、市街地における事業中路線の2019年早期完成を始め、主要渋滞箇所の早期改善を図ること

環境にやさしく都市機能を高める主要幹線道路ネットワークの整備

環境にやさしく活力ある都市として今後も持続的に発展していくため、既存高速道路ネットワークを有効活用した産業拠点の拡大や住宅開発など、新たな市街地の誘導を促進し、災害時や救急救命時の活動を支える環状・放射道路を中心とした利便性の高い道路ネットワークの構築が必要です。



RUGBY WORLD CUP 2019 HOST CITY ラグビーワールドカップ2019に向け早期整備が必要な路線

[主要事業]

国道153号豊田北バイパス

■ 上原町～扶桑町
■ 逢妻町～上原町

国道155号豊田南バイパス

■ 東新町～逢妻町

(都)豊田西部線
□ 朝日町～大池町

(都)豊田刈谷線
□ 本田町～西岡町

一般県道宮上知立線((都)豊田刈谷線)
◇ 西岡町～中田町

主要地方道名古屋岡崎線

■ 吉原町～和会町
◇ 生駒町横山～東山 6車線化

国道419号
◇ 上原町～西中山町 4車線化

国道419号
(社会資本整備総合交付金)
■ 陣中町～上原町

(都)豊田則定線
(社会資本整備総合交付金)
■ 日之出町～寺部町 4車線化
■ 日之出町～寺部町 無電柱化

市道高橋細谷線
(社会資本整備総合交付金)
■ 野見町～下市場町 4車線化

国道301号
(社会資本整備総合交付金)
■ 野見山拡幅 4車線化
■ 松平バイパス
◇ 根引峠バイパス

上郷スマートIC
上郷スマートインター1号線、2号線
(社会資本整備総合交付金)
■ 永覚新町～大成町


豊田・岡崎地区研究開発施設

| 凡 例 | |
|----------------|---------|
| ■ (Red box) | 国事業 |
| ■ (Black box) | 道路局所管事業 |
| ■ (Green box) | 県事業 |
| ■ (Yellow box) | 都市局所管事業 |
| ■ (White box) | 市事業 |
| □ (White box) | 市単独事業 |
| ◇ (White box) | その他事業 |

競争力強化に向けた新たな産業拠点を支える道路整備

国際競争力・都市間競争力の強化に向け、更なる産業の活性化を図る新たな産業拠点へのアクセス道路の整備が必要です。

[主要事業]



ラグビーワールドカップ2019に向け
早期整備が必要な路線

豊田・岡崎地区研究開発施設へのアクセス道路整備

- 現在、下山地区で進められている豊田岡崎地区研究開発施設事業は、豊田市にとって更なるものづくり
中枢都市として維持・発展するために、重要な事業
- 施設への**主要なアクセス道路となる国道301号の整備は最優先しなければならない事業**

豊田・岡崎地区研究開発施設の完成予想図



- 国道301号の整備
- ①野見山拡幅
 - ②松平バイパス
 - ③根引峠バイパス



①野見山拡幅 (交通渋滞の様子)
(写真A方向)



豊田・岡崎地区研究開発施設(中工区)
起工式 (H25. 8. 24)

用地造成の状況 航空写真 (H27.3 撮影)



県道東大見岡崎線の整備状況



事業面積 650.8ha
 予定従業員数 3,850人
 平成29年 一部施設建設工事着手予定
 平成32年度 一部施設操業予定
 東工区、中工区 用地造成工事中

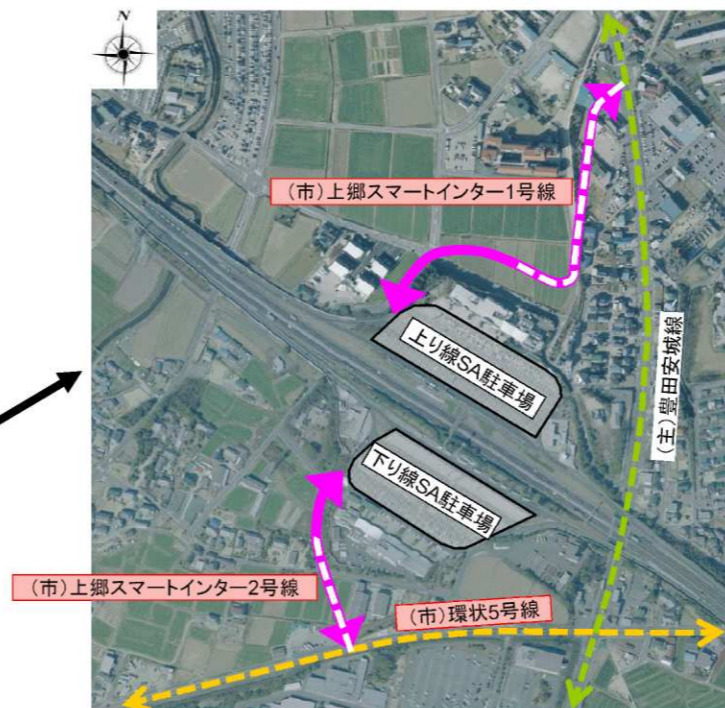
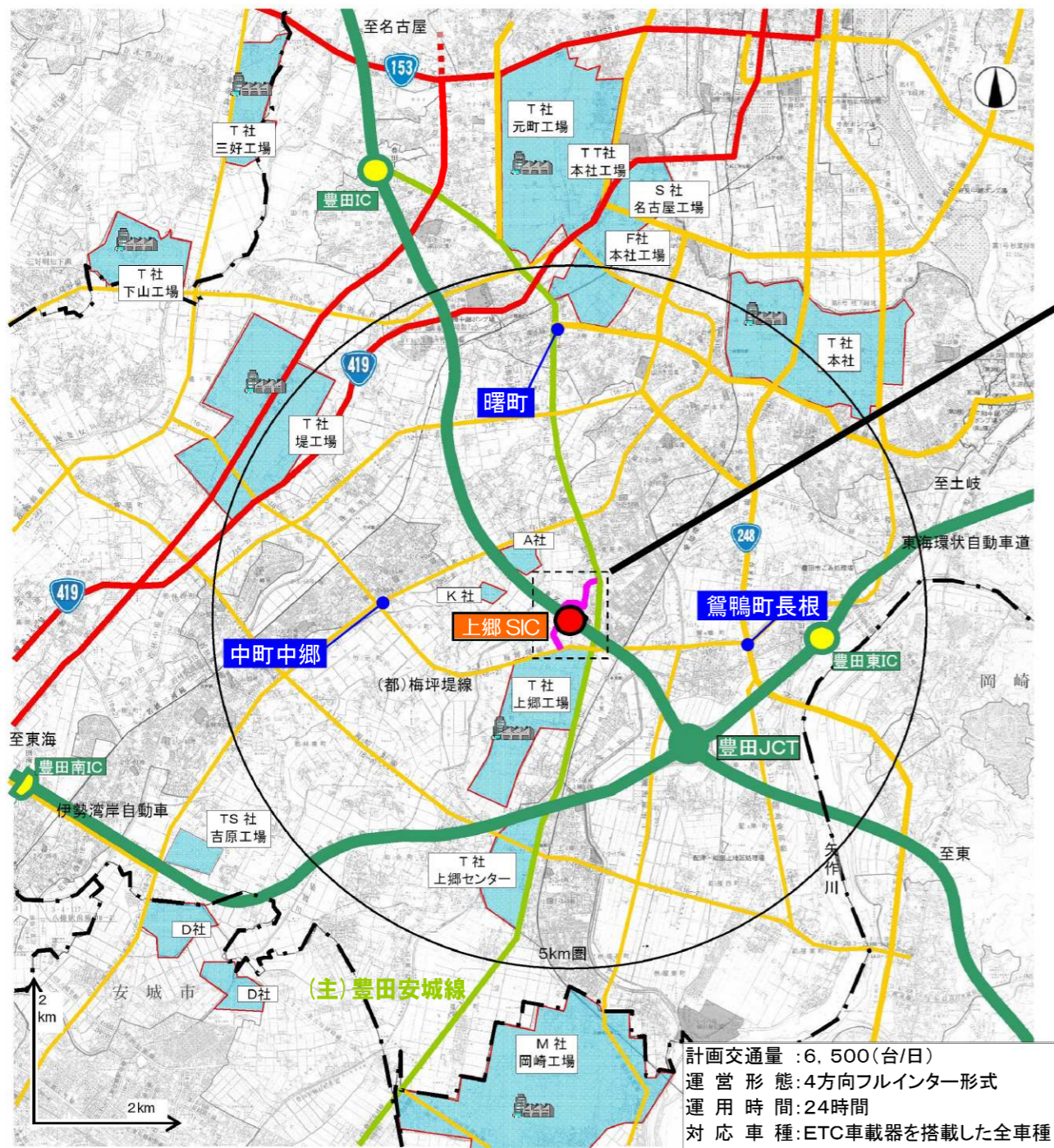
競争力強化に向けた新たな産業拠点を支える道路整備

輸送時間の短縮や輸送コストの削減等、更なる産業の効率化や活性化、市民の安全・安心を確保するスマートICの早期整備が必要です。

RUGBY WORLD CUP 2019 HOST CITY ラグビーワールドカップ2019に向け早期整備が必要な事業

上郷スマートICに期待される整備効果

上郷地区周辺は、自動車産業を中心とした日本有数の工場集積地
輸送時間の短縮や輸送コストの削減等を実現するIC!



豊田IC周辺道路の交通分散による渋滞緩和、物流の効率化を実現するIC!



安全・安心と広域的な輸送を支える道路整備

広域的な危険物輸送、地域間における災害時や救急救命活動時の物資や人の搬送等を支えるため、ボトルネックの早期解消が必要です。

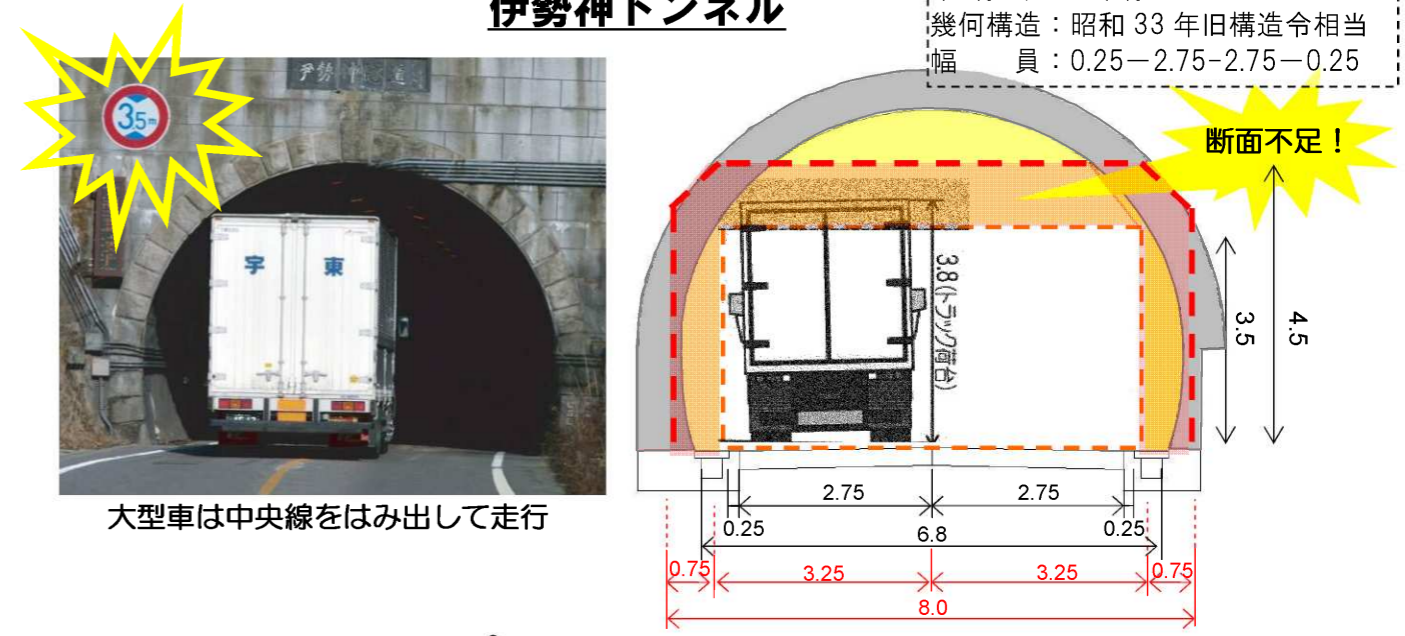
国道153号伊勢神改良 ～狭隘トンネルと雨量規制区間の早期解消～

国道153号は、名古屋-飯田間の危険物輸送における唯一のルート！ 広域交流を支える重要ルート！



中部地方整備局管内の直轄国道で
唯一の高さ制限 (H=3.5m) が存在！

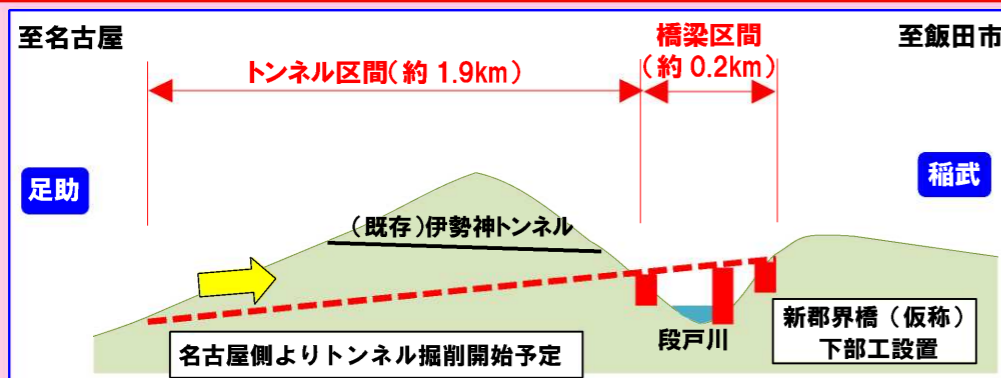
伊勢神トンネル



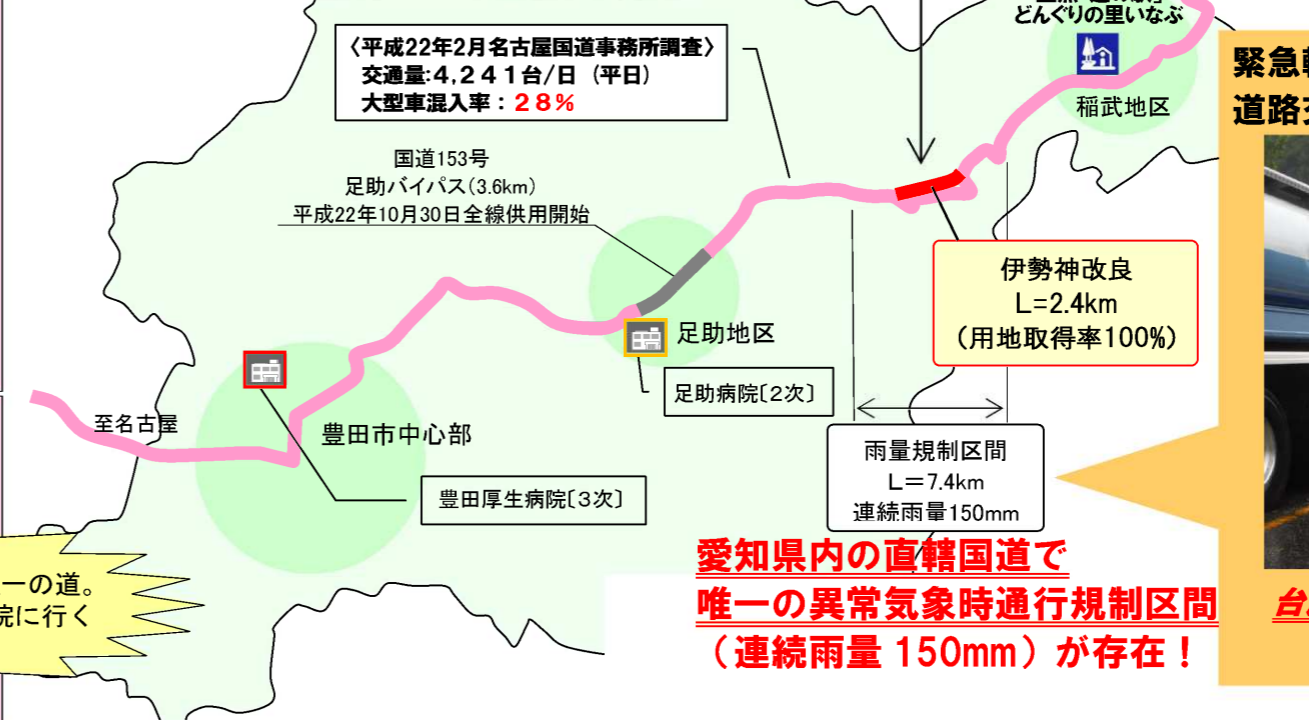
【概要】

| | |
|------|---------------------|
| 完成 | 昭和35年7月 |
| | (旧日本道路公団施工) |
| 延長 | 1,245m |
| 車線数 | 2車線 |
| 幾何構造 | 昭和33年旧構造令相当 |
| 幅員 | 0.25-2.75-2.75-0.25 |

トンネル本体工事、橋梁工事 早期着工



国道153号は、稲武地区から豊田厚生病院(3次救急医療施設)への重要な搬送ルート！



緊急輸送道路において、降雨量による道路交通規制区間が存在！



台風18号(H25.9)により
 約8時間の通行止め！

伊勢神迂回路建設工事安全祈願祭を開催 (平成27年6月14日)



地域の声

国道153号は、地域医療を担う足助病院への唯一の道。天候による通行止めが解消され、いつでも病院に行くことが可能になる、まさに命の道です。

愛知県内の直轄国道で
唯一の異常気象時通行規制区間 (連続雨量150mm) が存在！

市民の安全・安心を確保する道路整備

市民の日常の暮らしを支え、安全・安心を確保するため、交通安全・渋滞対策など、道路交通環境の整備が必要です。

[主要事業]

交通安全対策・渋滞対策

○通学路における歩道整備や渋滞・事故の主な原因となっている交差点の改良などの交通安全対策・渋滞対策が必要

■国道419号の整備

- ・北篠平町 歩道設置
- ・迫八反田交差点改良
- ・藤岡飯野町交差点改良



早期完成が望まれる
北篠平町歩道整備



右折レーンの無い事故多発交差点
(国道419号：迫八反田交差点)

最大
渋滞長 約1400m
通過時間
最大 約11分



朝夕の交通集中による渋滞
(国道419号：藤岡飯野町交差点)

観光振興を支える道路整備

地域間の連携と交流を促進し、観光産業の発展を図る道路ネットワークの整備が必要です。

[主要事業]

観光資源の連携強化を図る道路整備

○中山間地域の豊かな自然、歴史、文化等、豊富な観光資源を活かした、観光資源の連携強化を図る道路整備が必要

- 国道420号バイパスの整備
- 主要地方道足助下山線の整備
- 国道153号伊勢神改良



国道153号沿線地域を
「日本風景街道・新しさからなつかしさ塩の道～中馬街道～」
として登録(平成19年11月登録)



足助の歴史的町並み
(豊田市足助伝統的建造物群保存地区)



紅葉時の香嵐渓
(平成25年度の年間来訪者数約92万人)

市民が安全・安心して利用し続けられる道路インフラの老朽化対策

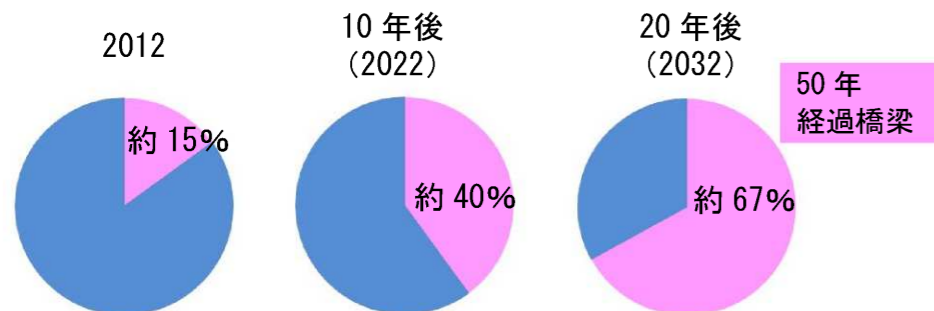
市民が安全・安心して利用し続けられる道路インフラを確保するため、**国道、県道、市道のいずれもが着実にメンテナンスサイクルを回せるよう予算の確保が必要です。**
 また、点検・診断・補修等の財政措置の充実、点検・診断システムの拡充など、**引き続き総合的な支援が必要です。**

■豊田市の予防保全が必要な道路インフラ

道路管理延長：約 2,550 km
 橋梁数：約 1,200 橋
 トンネル：3 箇所

■平成24年度に橋梁長寿命化修繕計画を策定し、老朽化対策を推進中

■急速に進行する橋梁の老朽化



豊田市が管理する建設後50年を経過する橋梁の推移
※建設年次が明確な橋梁で算出

■豊田大橋 外 6 橋 (防災・安全交付金) ・橋梁修繕



大規模橋梁の修繕 (豊田大橋)

■橋梁長寿命化修繕計画 (防災・安全交付金) ・点検



昭和 34 年開通 (55 歳) の橋梁



昭和 43 年開通 (46 歳) の橋梁

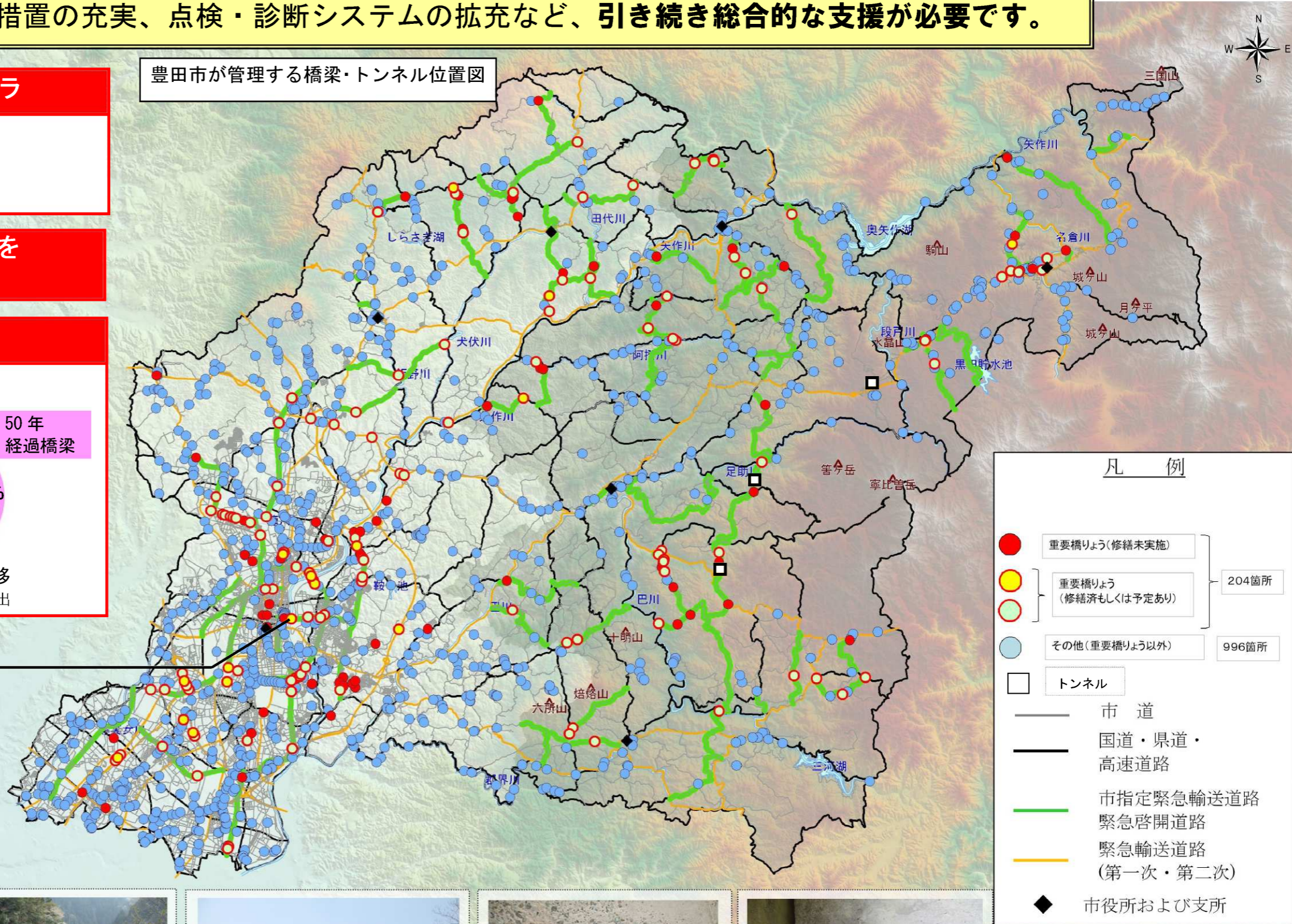


床版の剥離、鉄筋露出



支承部の損傷

豊田市が管理する橋梁・トンネル位置図



凡 例

- 重要橋りょう(修繕未実施)
 - 重要橋りょう(修繕済もしくは予定あり)
 - その他(重要橋りょう以外)
 - トンネル
 - 市道
 - 国道・県道・高速道路
 - 市指定緊急輸送道路
 - 緊急啓開道路
 - 緊急輸送道路(第一次・第二次)
 - ◆ 市役所および支所
- 204箇所 (重要橋りょう)
- 996箇所 (その他)

地域の「環境」「活力」「安心・安全」を支えるために
必要な道路整備



平成27年 8月 5日

豊田市幹線道路整備促進協議会

会 長 豊 田 市 長
太 田 稔 彦

豊田市議会議長
神 谷 和 利

豊田商工会議所会頭
三 宅 英 臣